

Cisco CloudCenter 環境の Cron デーモン エラーを解決して下さい

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[キーファイル](#)

[エラー メッセージ](#)

[回避策](#)

[解決策](#)

概要

この資料に Cisco CloudCenter (CCC) の Cronjob エラー autoupgrade を解決する方法を記述されています。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Cloud センター
- Linux
- 仮想マシン (VM)

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報はこれらのソフトウェアに基づいています:

CCC バージョン 4.3 および CCC バージョン 4.6

背景説明

Cron daemon は各 VM の中の各時間が CCC から展開した 20 分毎に実行します。この cron ファイルはアップデート URL を取出すのに使用される変数が配備の時から抜けているので失敗します。可変「agentAutoUpgradeURL」はバージョン 4.2 での前の使用され、が、4.5 からおよびもう使い果されません。これはこの変数がこれらの配備で無効にするためになぜ設定されるか原因です。20 分毎にこの cron ファイルのエラー出力は /var/spool/mail/root に記録されます

同じ突堤エージェントがダウンしている場合いくつかの一定したログが付いている塗りつぶし `/var/log/messages` のまたスクリプトを書きます。(以下を参照):

```
Nov 15 12:58:01 cliqr-centos6-base-image OSMOSIX: Is user data ready + 000
Nov 15 12:58:06 cliqr-centos6-base-image OSMOSIX: Is user data ready + 000
Nov 15 12:58:11 cliqr-centos6-base-image OSMOSIX: Is user data ready + 000
```

キーファイル

```
/etc/cron.d/agent-upgrade
```

システムを 20 分毎に以下にファイルを実行するように言います:

```
/root/agent-auto-upgrade.sh
```

この出力はこのファイルに 20 分毎にいっぱいになる、すぐに記録されます:

```
/var/spool/mail/root
```

```
/usr/local/osmosix/etc/user-data
```

NULL agentAutoUpgradeURL:

エラー メッセージ

```
% Total % Received % Xferd Average Speed Time Time Time Current Dload Upload Total Spent Left
Speed 0 0 0 0 0 0 0 0 ---: ---: ---: 0 100 421 100 421 0 0 74924 0 ---: ---: ---: 84200 % Total
% Received % Xferd Average Speed Time Time Time Current Dload Upload Total Spent Left Speed 0 0
0 0 0 0 0 ---: ---: ---: 0curl: (6) Could not resolve host: agentAutoUpgradeURL; Unknown error
```

回避策

ファイル `/etc/cron.d/agent-upgrade` からのスケジュール行はコメントします

```
vi /etc/cron.d/agent-upgrade
```

```
SHELL=/bin/bash
```

```
PATH=/sbin:/bin:/usr/sbin:/usr/bin
```

```
MAILTO=root
```

```
HOME=/root
```

```
#18,38,58 * * * * root source /root/agent-auto-upgrade.sh && upgrade
```

解決策

これはバージョン 4.8.0 で固定されるために計画されます